



2024年9月

「デジタルと社会をつなぐデザイン」研究会 第3回会合 ご案内

- ・主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間拡張研究センター
- ・協力：株式会社 AIST Solutions
- ・日時：2024年10月22日（火） 15:30-17:40
- ・会場：WeWork 日比谷 Fort Tower 内会議室（対面開催）

<https://wework.co.jp/location/tokyo/ginza-shimbashi-area/hibiya-fort-tower>

- ・定員：27名

・開催主旨：

人間拡張、AI、ロボット等、新たなデジタル技術が登場し、データを活用した新たなサービス・事業開発に対する期待が広がっています。特にSDGsの履行やESG投資を始め、より社会を志向した事業への転換に対する、企業への社会的な要請が強まっており、デジタルを活用した社会志向型事業のデザインの重要性はますます高まっています。一方、社会志向型事業の受容性や生み出される社会価値の評価をどのように行っていくか、社会価値と事業価値（ビジネスとしての継続性）をいかに両立するか、あるいはデジタル技術を活用することに伴う負の影響（例えばプライバシー）への懸念にどう対応するか、といった新たなデザイン課題が顕在化してきており、こうした課題への対応が事業の成功には欠かせません。そういった背景のもと、世界に目を向けると、Systemic Design、Transition Design、Design for Sustainability など、社会価値実現に向けたデザイン手法が生まれ始めています。しかし現状の事業環境においては、未だ旧来のビジネス慣習に基づく意思決定やそれに即したデザイン実践・事業開発が主流であり、社会価値実現に向けたデザイン・検証に必要な手法の習得や実践の機会（例えば市民参加に基づくデザイン）の創出、継続的な実践に向けたリソース配分が十分実施されているとは言えない状況です。

そこで、課題意識を共有する企業・研究者、並びに市民・生活者、自治体等をはじめ多様なステークホルダーが集まり、現状の課題や必要な取り組み（例えば、新たなデザイン手法・理論・リソースの共有・実践、普及展開等）の検討、コミュニティ構築を目的とした研究会を開催することといたしました。

前回会合では地域共創を通じたスマートシティ開発をテーマとしましたが、第3回会合は地方の地場産業育成、持続性向上に向けた取り組み事例を2件ご紹介いただき、いわゆる地方創生に関する取り組みの課題や求められるアプローチ、あるべき姿などについて、皆様と議論できればと考えています。

・プログラム（敬称略）：

15:30-15:35 インTRODクシヨン（産総研）

15:35-16:15 事例紹介「世界をつなぐ。食を通じた学びと地域価値共創（仮）」（早稲田大学
創造理工学部 教授 野中 朋美）

16:15-16:55 事例紹介「無印良品のソーシャルグッド事業とみんなみの里の取り組み（仮）」
（株式会社良品計画 執行役員 ソーシャルグッド事業部兼千葉事業部管掌 河村 玲）

16:55-17:35 ワークショップ「地方創生のもつ課題とあるべき取り組みとは？（仮）」

17:35-17:40 Wrap-up・今後の予定（産総研）

※終了後、WeWork オープンスペースにて簡単な懇親会を予定しております。

※内容は予告なく変更の可能性があります。

・お申し込み：

お問い合わせ先のメールアドレスよりお申し込みください。会場サイズの都合でお申し込み多数の場合は先着順とさせていただきます。

・お問い合わせ先：

「デジタルと社会をつなぐデザイン」研究会事務局

M-digi_desi-sec-ml@aist.go.jp